

ラスビック点滴静注キット 150mg

【この薬は？】

販売名	ラスビック点滴静注キット 150mg Lasvic Intravenous Drip Infusion Kit 150mg
一般名	ラスクフロキサシン塩酸塩 Lascufloxacin Hydrochloride
含有量 (1バイアル 24mL 中)	ラスクフロキサシン 150mg (ラスクフロキサシン塩酸塩として 162.5mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製にかかわる酵素を阻害することにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に医療機関で使用されます。

<適応症>

肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染

<適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、ベイヨネラ属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス

属、フソバクテリウム属、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にラスビック点滴静注キットに含まれる成分や他のキノロン系抗菌剤で過敏症のあった人
 - ・先天性QT延長症候群などQT延長のある人
 - ・低カリウム血症のある人
 - ・クラスⅠA（キニジン、プロカインアミド等）又はクラスⅢ（アミオダロン、ソタロール等）の抗不整脈薬を使用している人
 - ・肝臓に重い障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・小児
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんのけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・重い徐脈等の不整脈、虚血性心疾患、心不全等の心臓に障害のある人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人
 - ・肝臓に中等度の障害がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬[クラスⅠA抗不整脈薬（キニジン、プロカインアミド等）又はクラスⅢ抗不整脈薬（アミオダロン、ソタロール等）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や抗生物質など薬の使用により過敏症を経験したことがある人は、医師に伝えてください。
- QT間隔が延長するおそれがあるため心電図検査等が行われることがあります。
- 大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、成人に使用する量および回数は、次のとおりです。

1 回量	投与初日は 300mg (ラスクフロキサシンとして)、 投与 2 日目以降は 150mg (ラスクフロキサシンとして)
使用回数	1 日 1 回、点滴静注する

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・QT 間隔が延長するおそれがあるため心電図検査等が行われることがあります。
- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛み等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・高齢の人は、腱障害があらわれやすいので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい
白血球減少症 はつけっきゅうげんしょうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
QT 延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍 (Torsades de pointes を含む) しんしつひんぱく (トルサード・ド・ポアンツをふくむ)	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色)

重大な副作用	主な自覚症状
アキレス腱炎、腱断裂等の 腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどの けんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
錯乱、せん妄等の精神症状 さくらん、せんもうなどのせいしんしょうじょう	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚（実際にはない物が見えたり、音が聞こえたりするように感じる）、妄想
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくしょうのあくか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、腹痛、胸の痛み、背中での痛み
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中での痛み、激しい腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、突然の高熱、寒気、発熱、疲れやすい、けいれん、体がだるい、力が入らない、脱力感、顔や手足の筋肉がびくつく
頭部	めまい、意識の消失、気を失う、意識の低下、頭痛、一時的にボーっとする、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
眼	幻覚（実際にはない物が見えたり、音が聞こえたりするように感じる）、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
口や喉	喉のかゆみ、喉の痛み、咳、吐き気、食べ物が飲み込みにくい、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、胸の不快感、胸の痛み、激しい胸の痛み

部位	自覚症状
腹部	お腹がすく、腹痛、食欲不振、激しい腹痛、お腹が張る
背中	背中の痛み、激しい背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない、手足のこわばり、手足のしびれ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
尿	尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

	薬液	専用希釈液
色調	微黄色澄明～淡黄色澄明の液	無色澄明の液
内容量	24mL	76mL
形状	バイアル 	容器 

【この薬に含まれているのは？】

	薬液	専用希釈液
有効成分	ラスクフロキサシン塩酸塩	—
添加剤	pH調整剤	塩化マグネシウム、トロメタモール、塩化ナトリウム、pH調整剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社 (<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

くすり情報センター

電話：0120-409341

受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）